



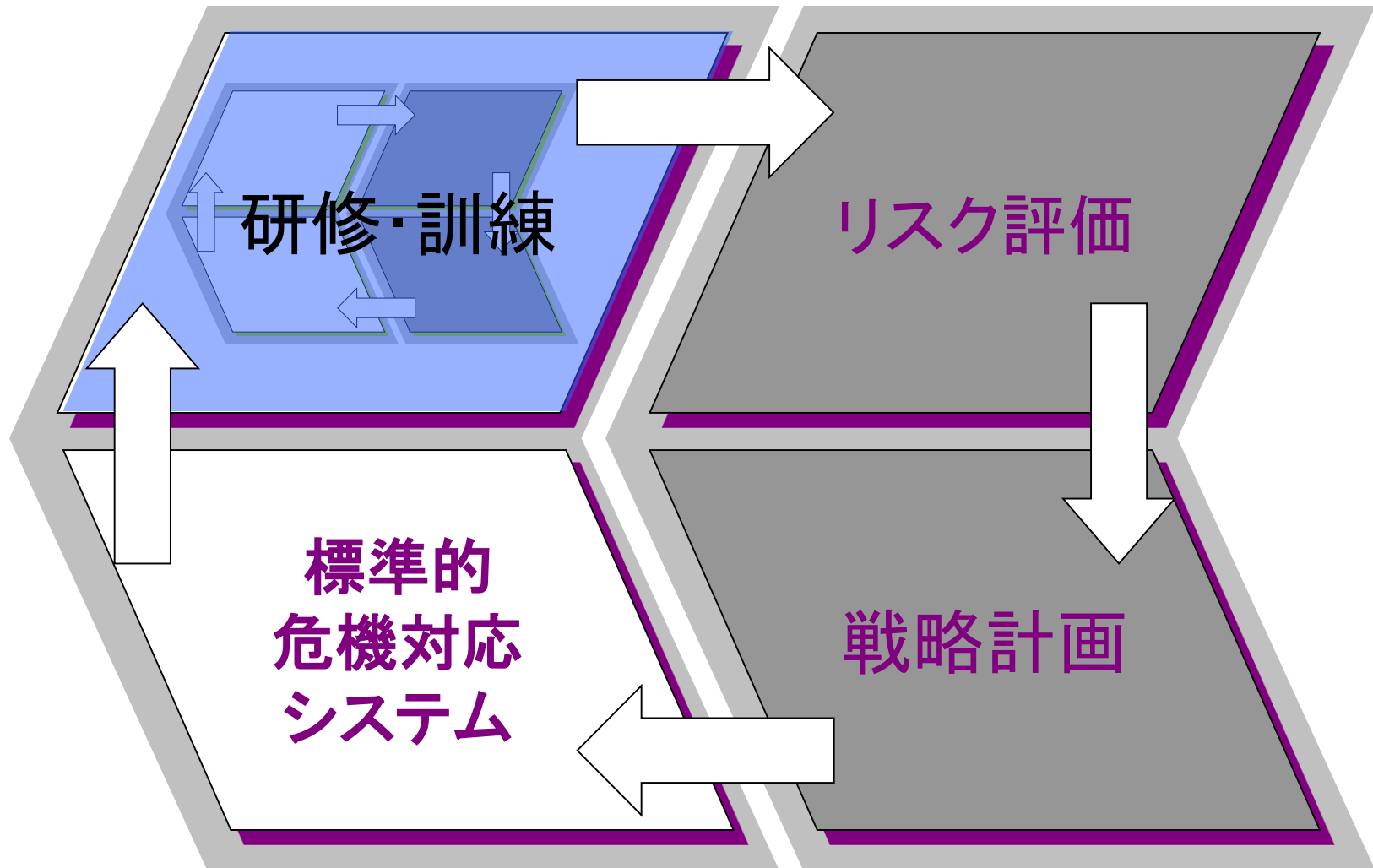
# 研修・訓練の位置づけ

京都大学防災研究所

林 春男



# 効果的な研修・訓練による人材育成



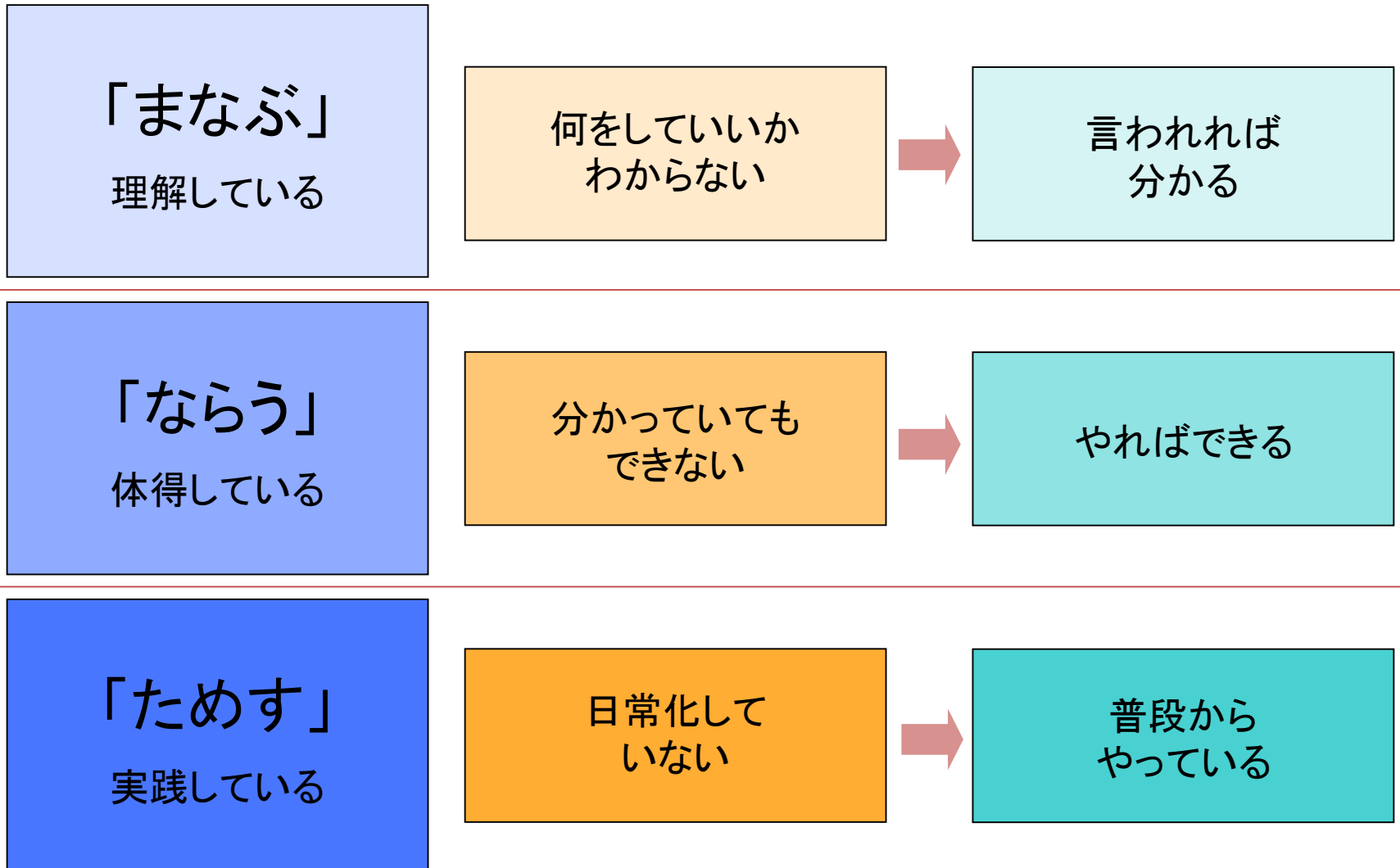


**巨大災害はめったに起きないが、  
ひとたび起きると甚大な被害**

**研修・訓練を通して  
実効性を高める**

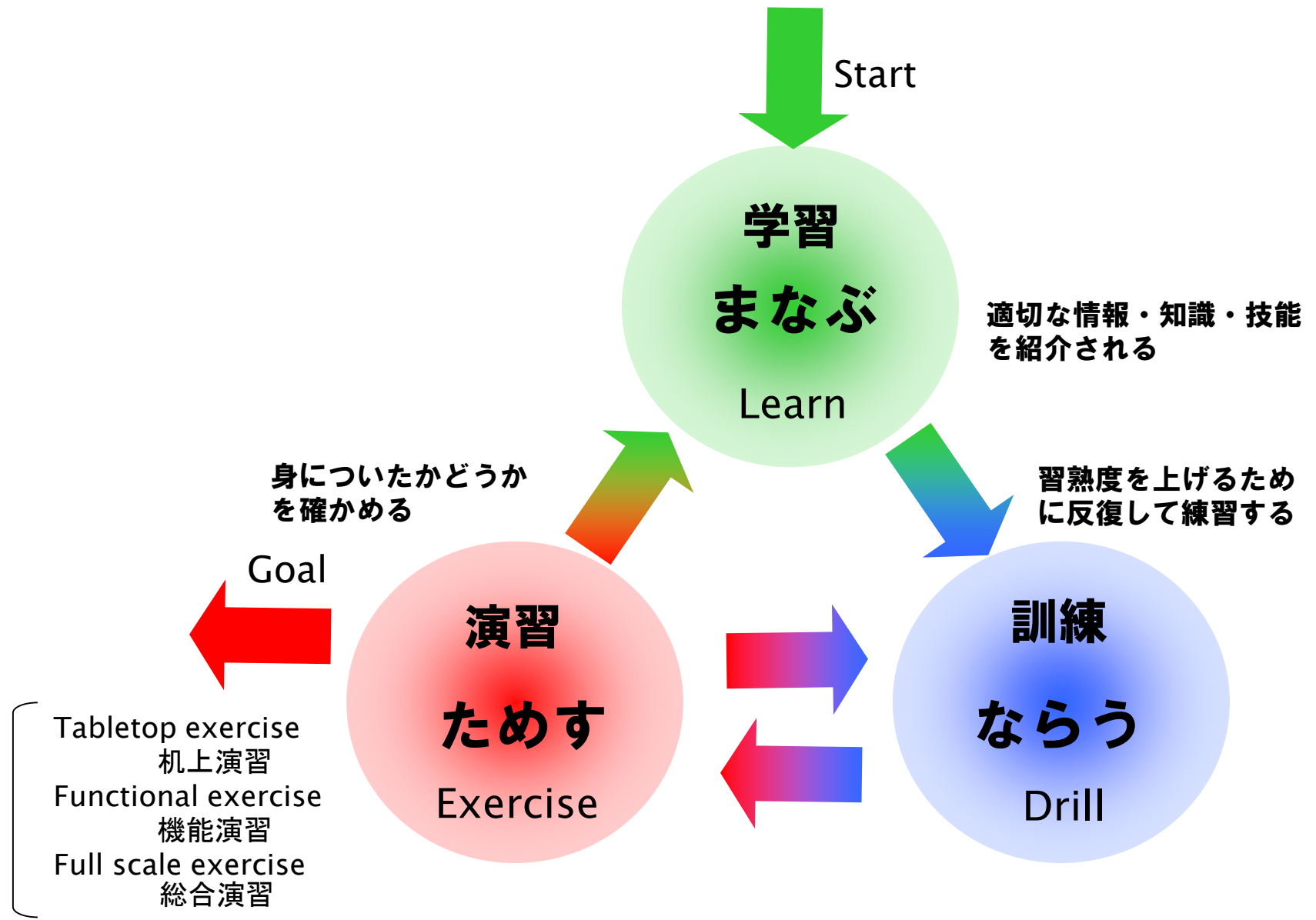


# 現場力を鍛える Operational Excellence



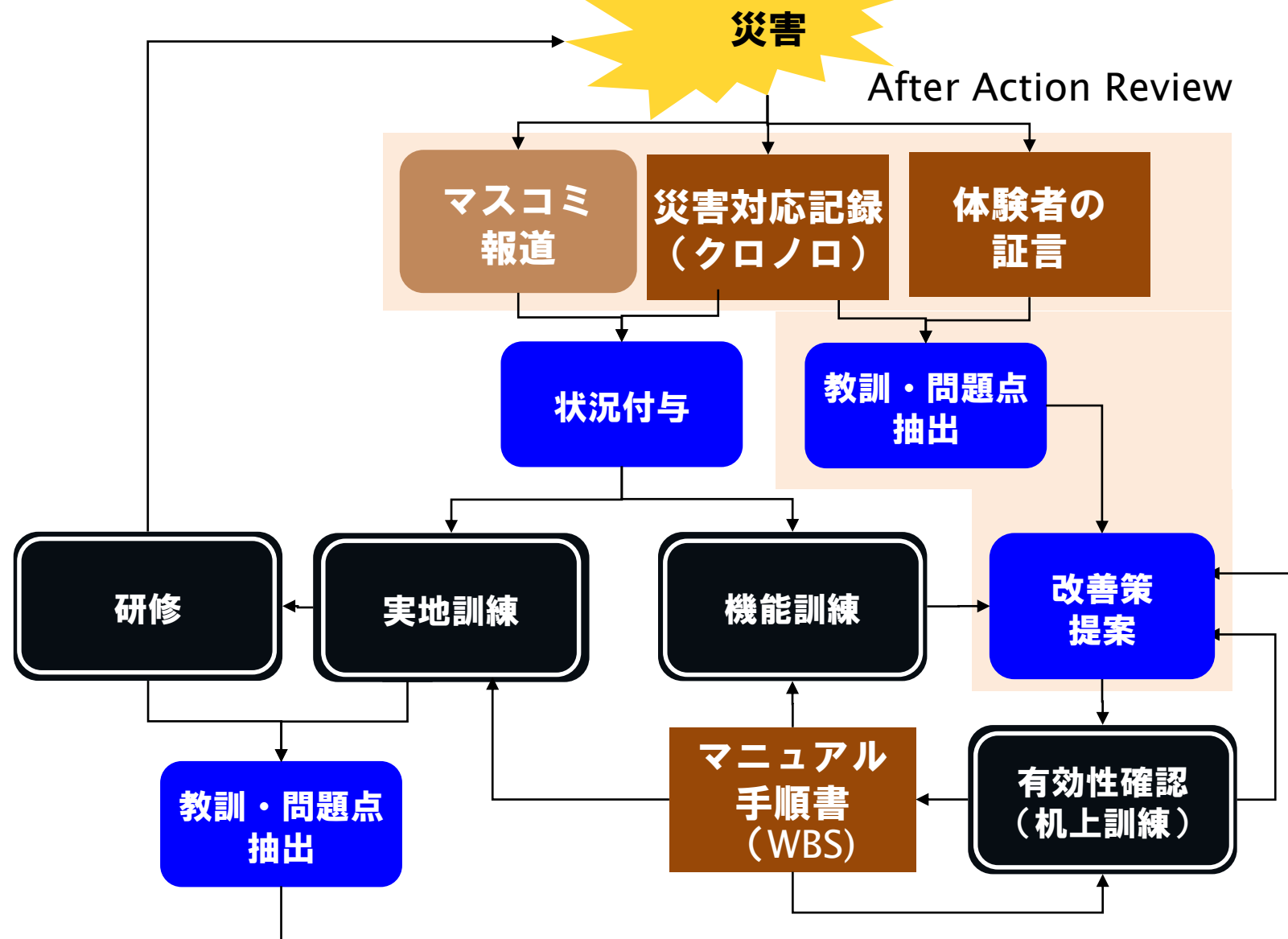


# 危機管理研修 (Training for Crisis Management)



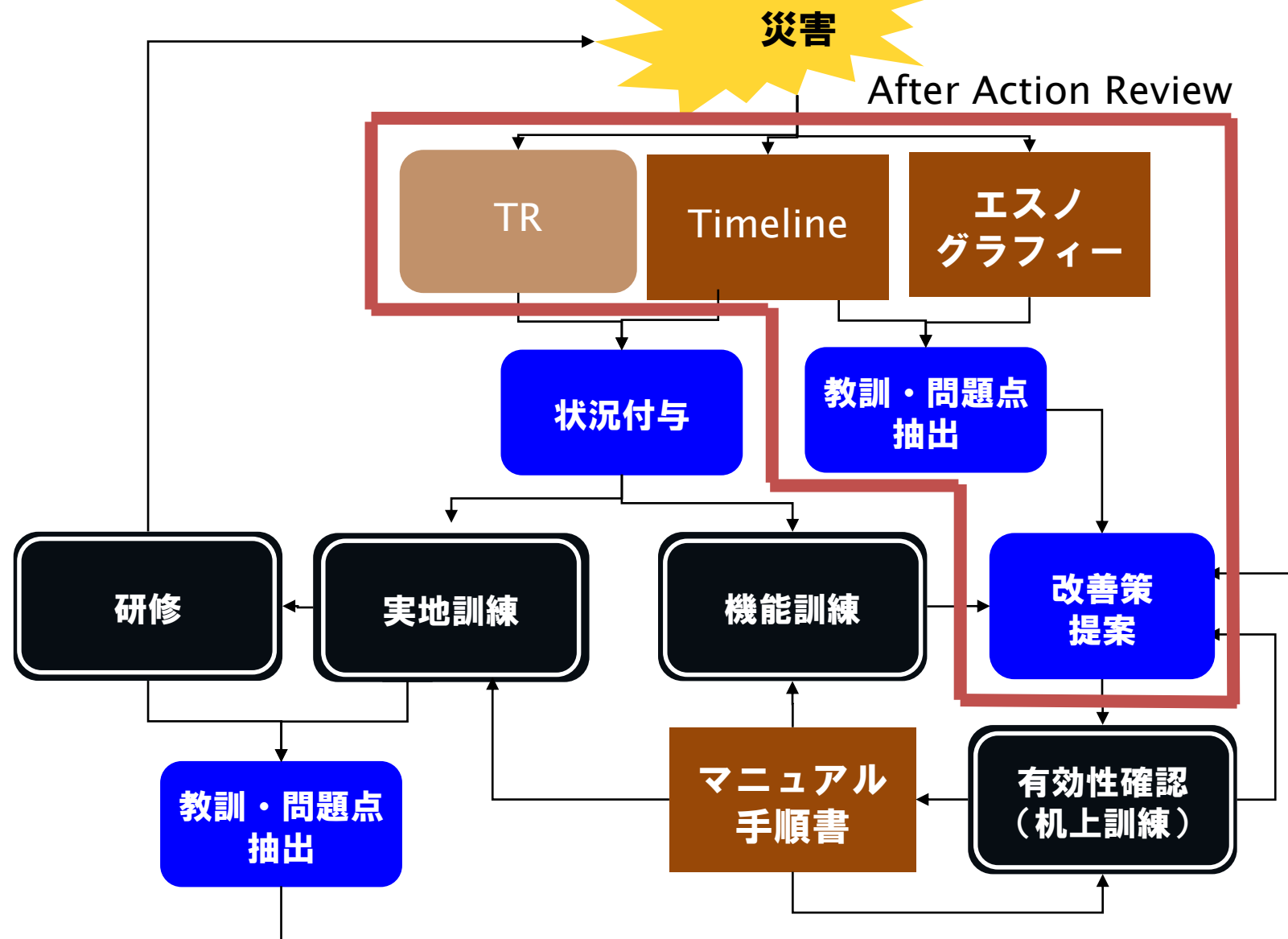


# 危機管理担当者材育成体系



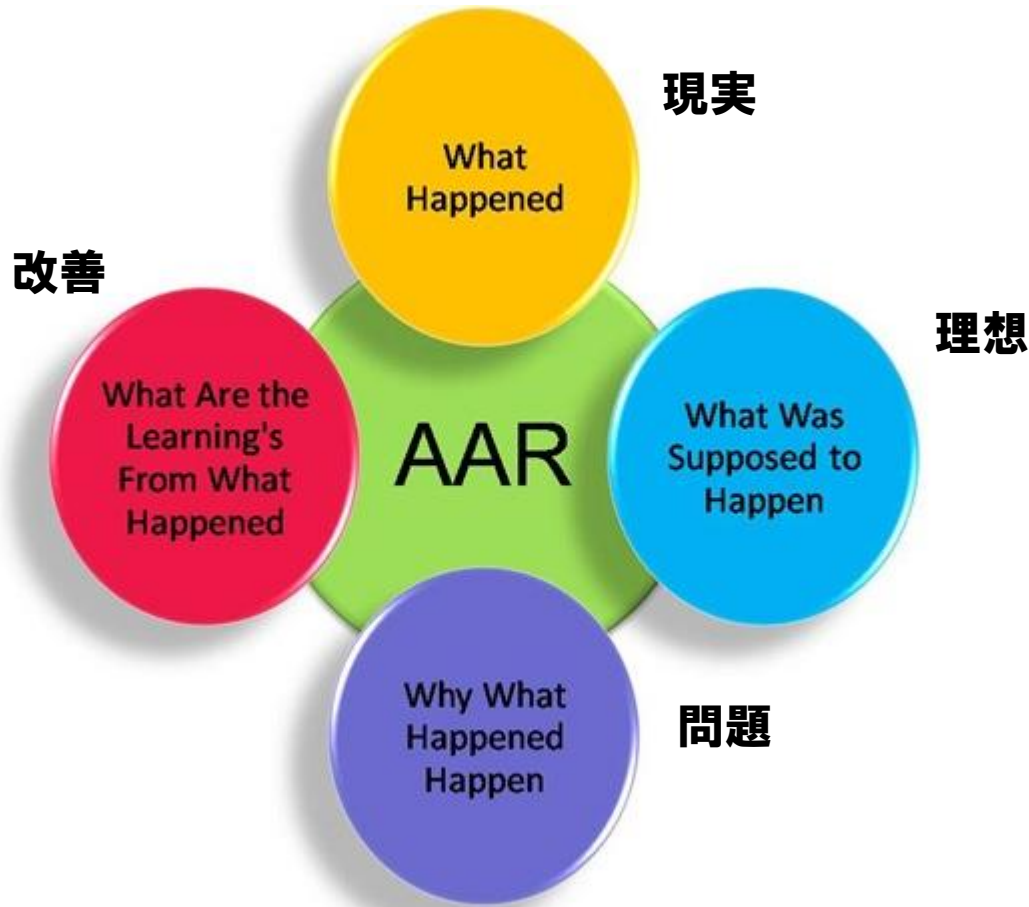


# 危機管理担当者材育成体系





# After Action Review 「ふりかえり」



<http://www.888fulcrum.com/the-armys-after-action-review-a-model-for-performance-feedback/>

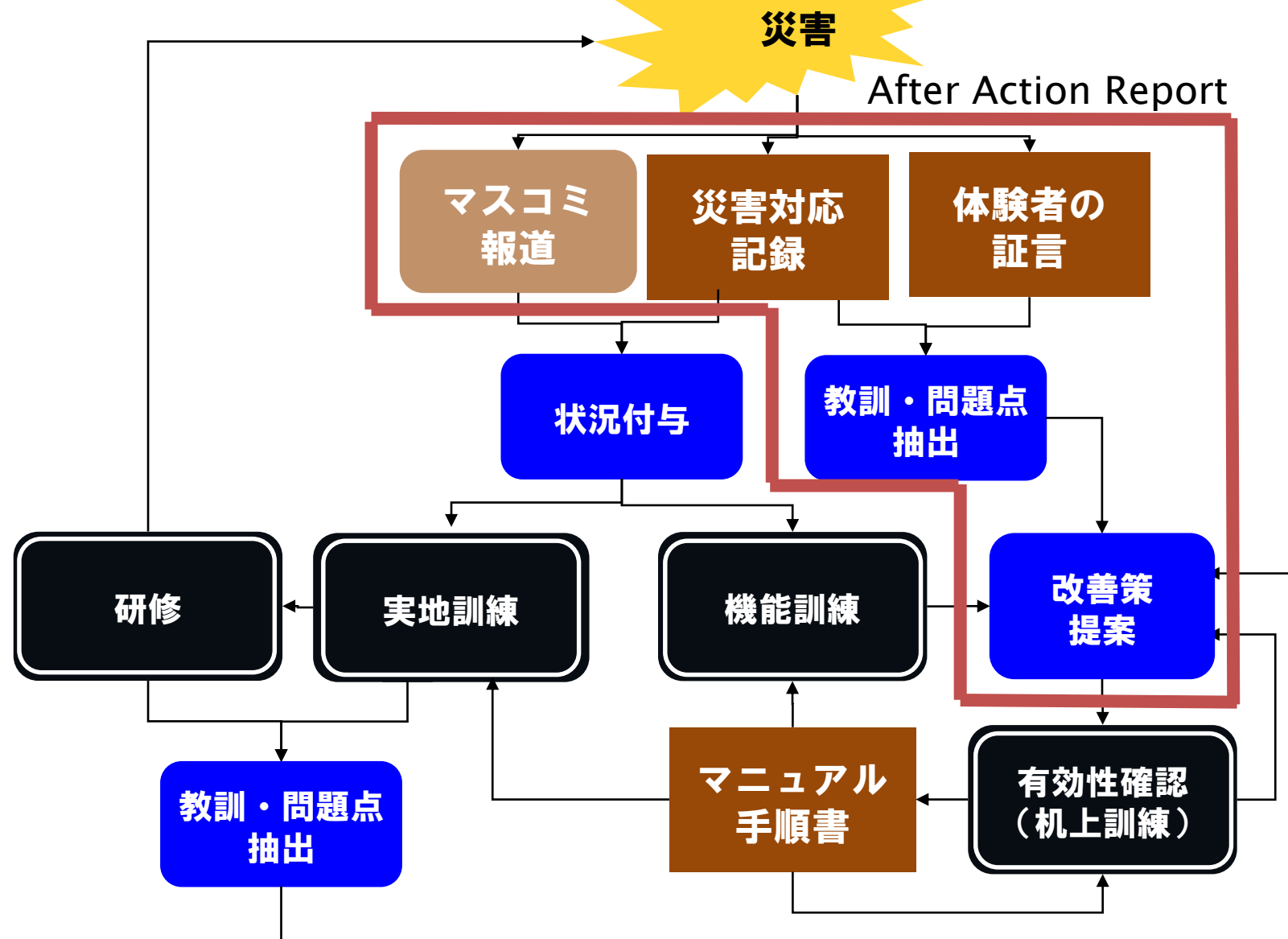


<http://en.paperblog.com/knowledge-management-learning-while-doing-facilitating-an-after-action-review-84081/>





# 危機管理担当者材育成体系





# 整備すべき研修・訓練体系

個人を対象

組織を対象

研修主体

訓練主体

個別知識  
(地震防災)

マネジメント  
技術

基本能力・態度

人材  
育成

優秀者選抜



# 育成すべき能力

**事業継続を可能にする個別知識**

ハザード特性  
リスク評価手法  
予防対策  
応急対応対策  
復旧・復興対策

**効果的な組織運営を可能にする技術**

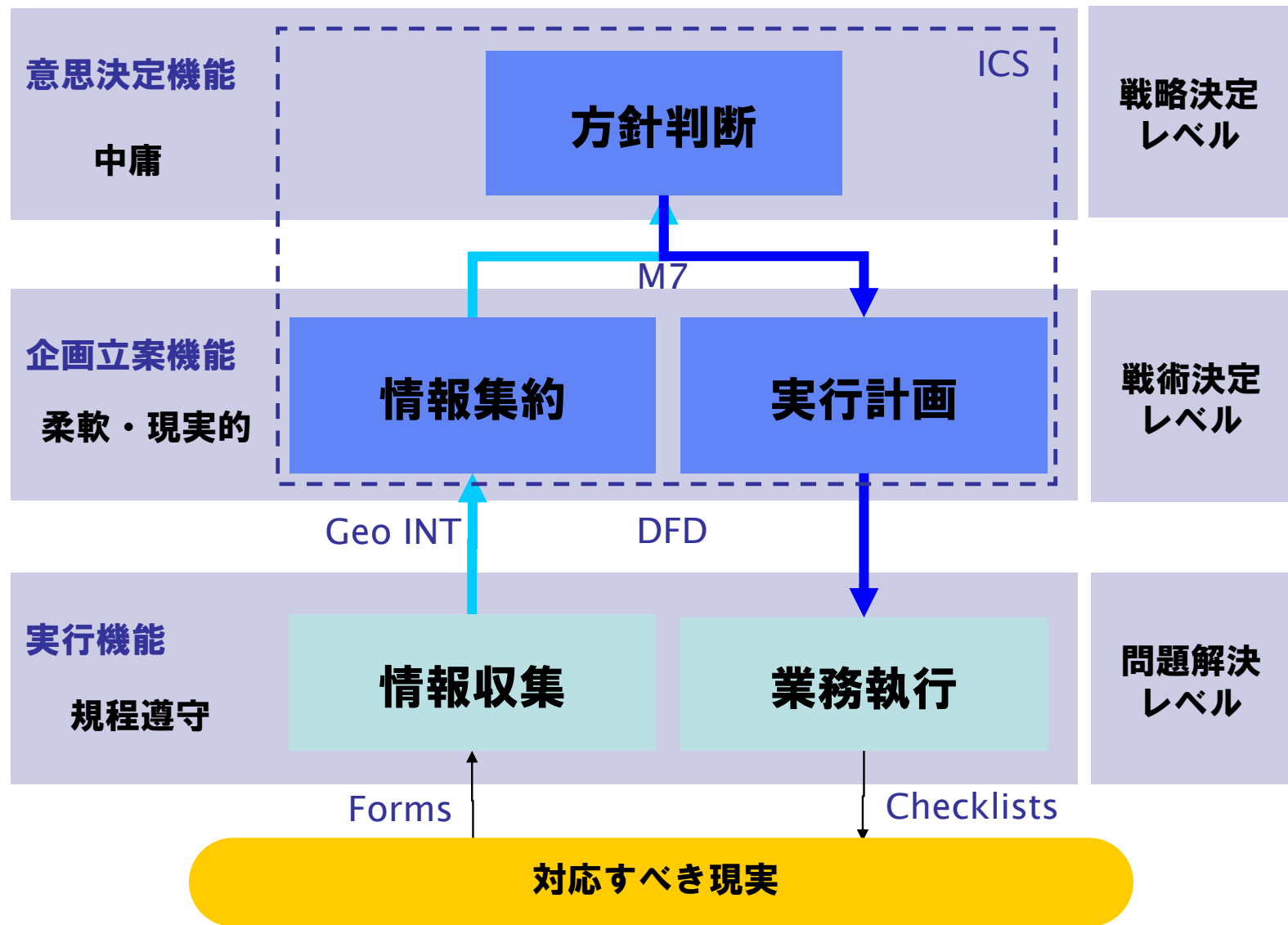
プランニング技術  
指揮統制技術  
総合調整技術  
情報処理技術  
広報技術

**危機対応できる人の基礎能力・態度**

問題解決能力・意思決定能力  
コミュニケーション能力  
リーダーシップ

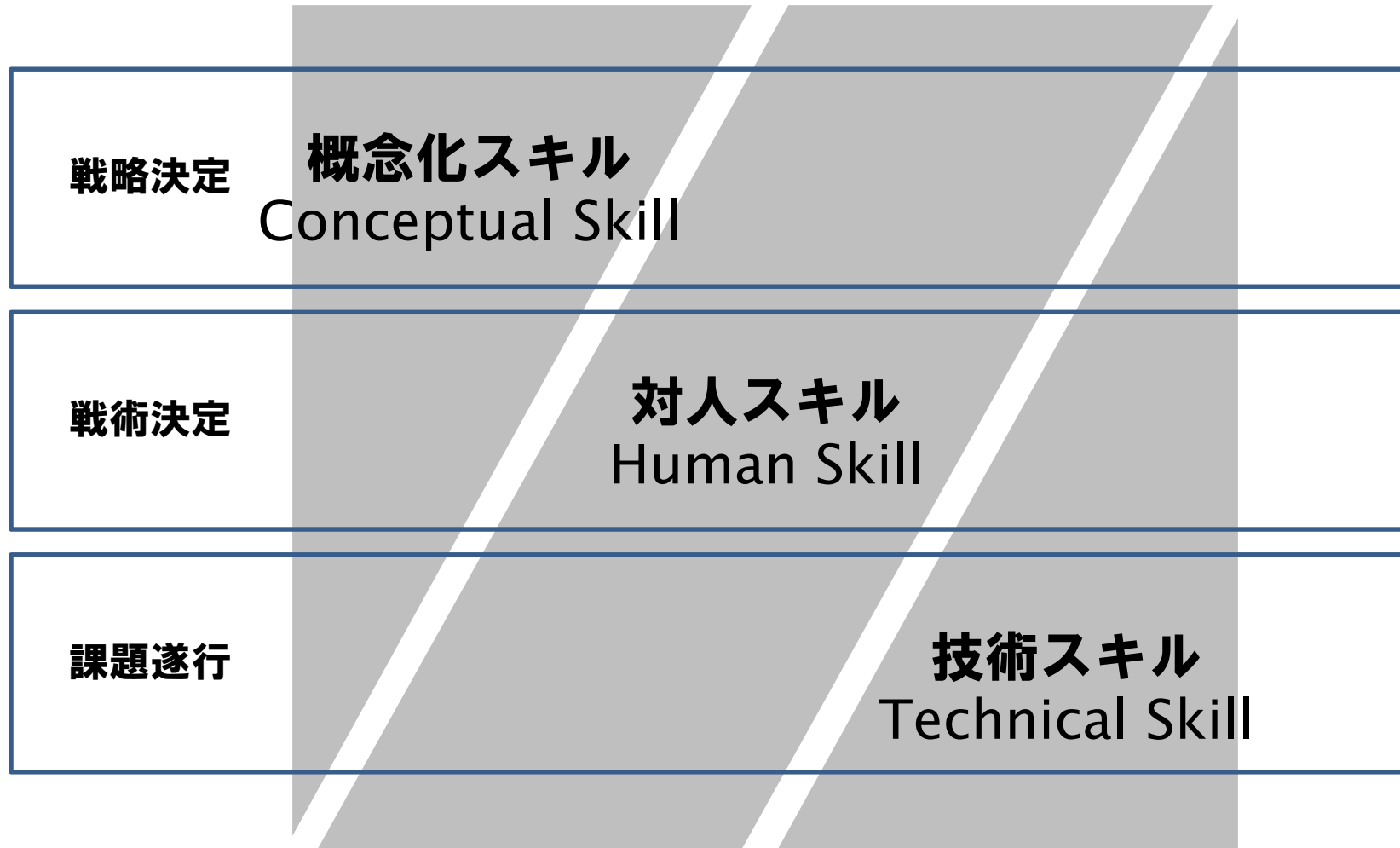


# 危機対応組織が持つべき3層構造と5つの業務





# Katz, R.L. 'Skills of effective administrator' Harvard Business Review (1955)



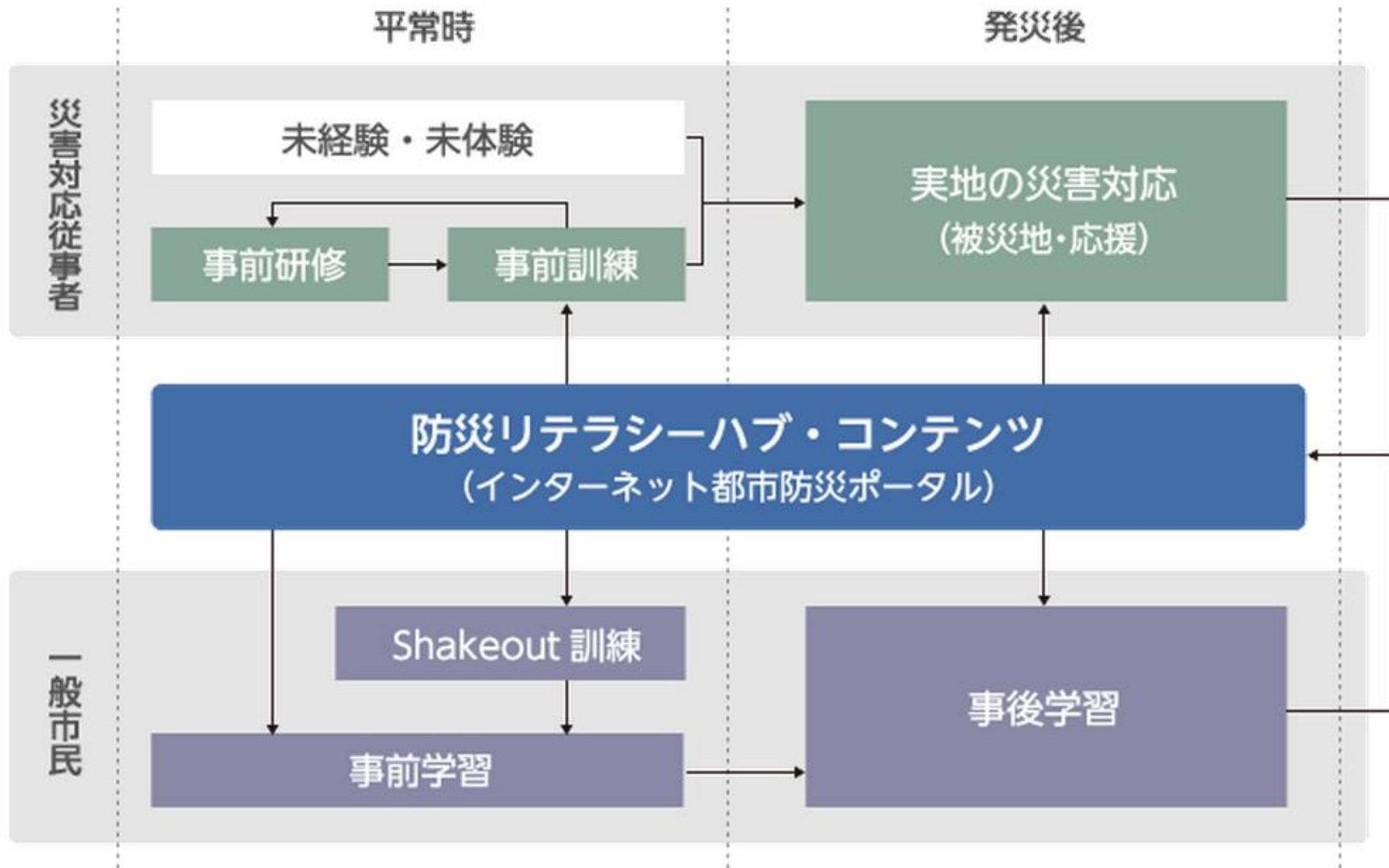


## 2種類の対象

- **危機管理関係者**
  - 戦力増強・人員増員
  - 危機対応の標準化
  - 危機管理担当人材育成体系
  
- **市民・地域・企業**
  - 自助力・互助力・共助力の向上
  - ShakeOut



# 防災リテラシーハブ利用イメージ





ホーム 世界のシェイクアウト お問い合わせ

<http://www.shakeout.jp/>

シェイクアウトに参加しよう  
申し込みもう!

なぜ? だれが? どうやって? ダウンロード 訓練アプリ ニュースとイベント情報 これまでのシェイクアウト 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議



## The Great Japan ShakeOut

### シェイクアウトに参加しよう!

The Great Japan ShakeOutは、米国カリフォルニア州で生まれ、日本に普及させるため、訓練に必要な学習資料で行われたシェイクアウト訓練の告知や報告を取りまとめている。

### 日本シェイクアウト 参加登録者総数

2015(平成27)年  
**1,311,685名**

2014(平成26)年  
**4,453,244名**

#### 1 事前登録

- 訓練への参加を主体的に決める
- ホームページ等を通しての個人での参加者登録
- 自治会、学校、事業所等の組織を通しての参加者登録

#### 2 事前学習

- 訓練への参加意欲を高める
- ホームページ等を活用しての被害想定と災害対応についての事前学習
- 地域の講演会などへの参加

#### 3 訓練開始

- 決められた日時に、学校や職場あるいは自宅などそのときいる場所で訓練に参加する
- 訓練は主催者が決めた合図で始める
- 安全確保行動1-2-3をとる+ 個別訓練を実施する

#### 4 ふりかえり

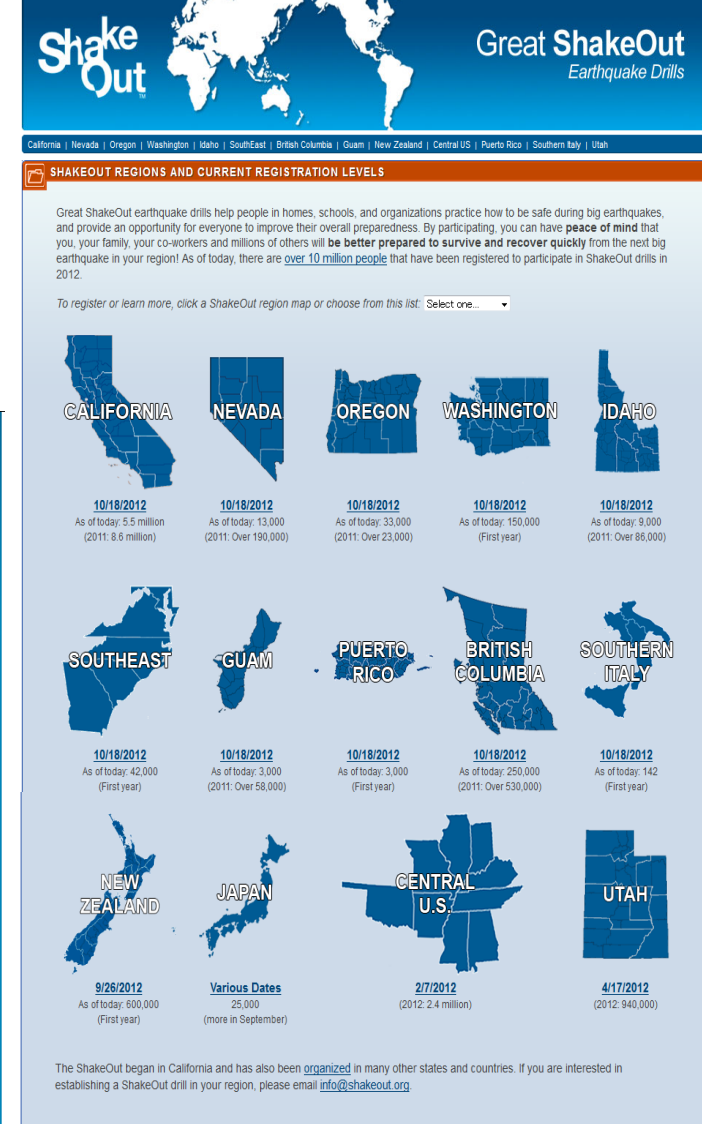
- ホームページやFacebook/Twitter等を活用して参加状況を発信する
- 主催者は訓練実施報告書を作成する





# Shake out訓練とは

- 米国カリフォルニア州各地で毎年10月第3木曜日に行われる地震防災訓練の名称
- 参加登録者数が一千万人近くの史上最大の防災訓練。2011年950万人。
- 2012年には全米各地、日本、ニュージーランドでも
- 2013年2470万人
- Shakeoutは造語。意識すると「いっせい防災訓練」。



**Shake Out** Great ShakeOut Earthquake Drills

California | Nevada | Oregon | Washington | Idaho | SouthEast | British Columbia | Guam | New Zealand | Central US | Puerto Rico | Southern Italy | Utah

**SHAKEOUT REGIONS AND CURRENT REGISTRATION LEVELS**

Great ShakeOut earthquake drills help people in homes, schools, and organizations practice how to be safe during big earthquakes, and provide an opportunity for everyone to improve their overall preparedness. By participating, you can have **peace of mind** that you, your family, your co-workers and millions of others will be **better prepared to survive and recover quickly** from the next big earthquake in your region! As of today, there are over 10 million people that have been registered to participate in ShakeOut drills in 2012.

To register or learn more, click a ShakeOut region map or choose from this list:

Region	Date	As of today	2011
CALIFORNIA	10/18/2012	5.5 million	8.6 million
NEVADA	10/18/2012	13,000	190,000
OREGON	10/18/2012	33,000	23,000
WASHINGTON	10/18/2012	150,000	(First year)
IDAHO	10/18/2012	9,000	86,000
SOUTHEAST	10/18/2012	42,000	(First year)
GUAM	10/18/2012	3,000	58,000
PUERTO RICO	10/18/2012	3,000	(First year)
BRITISH COLUMBIA	10/18/2012	250,000	530,000
SOUTHERN ITALY	10/18/2012	142	(First year)
NEW ZEALAND	9/26/2012	800,000	(First year)
JAPAN	Various Dates	25,000	(more in September)
CENTRAL U.S.	2/7/2012	2.4 million	(2012)
UTAH	4/17/2012	940,000	(2012)

The ShakeOut began in California and has also been organized in many other states and countries. If you are interested in establishing a ShakeOut drill in your region, please email [info@shakeout.org](mailto:info@shakeout.org)



# 従来の訓練の限界

- 従来の訓練は会場を臨時に設営し、会場に参加者を集める方式である。
- この方式で集められる参加者は限られているだけでなく、参加者が減少する傾向にある。
- 参加者の減少は防災啓発の効果の低下させている。
- しかも、わずか1日の訓練のために会場設営等に多額の経費を必要とする。
- さらに休日に実施する場合には自治体に過重な負担がかかる傾向にある。
- ご都合主義的なシナリオ設定、学ぶべきことが不明確



## Shake out訓練の特徴

- 科学的な研究成果による地震シナリオにもとづく「いっせい防災訓練」
- 多くの人に参加できる・経費のかからない防災訓練：最終目標1,000万人
- それぞれの場所で、誰でも参加できる防災訓練、みんなが工夫できる防災訓練
- 主体的に参加できる訓練
- 共通訓練＋個別訓練



# 自助の基本の安全行動の1-2-3

- Drop Cover Hold on



**まず低く、頭を守り、じっとする**



# シェークアウトの4つの段階

## 事前登録

- ・ HP等での個人での参加者事前登録
- ・ 組織を通じての参加者事前登録

## 事前学習

- ・ HP等を活用しての被害想定のお知らせと事前学習
- ・ 訓練そのものへの参加意識を高める

## 訓練開始

- ・ 訓練開始合図はエリアメールや緊急地震速報
- ・ 安全確保行動1-2-3 + 個別訓練の実施

## ふりかえり

- ・ ソーシャルメディア等を活用した参加状況の発信
- ・ 訓練実施報告書の作成



# Shakeout導入による効果

- **Shakeout方式で集められる参加者は従来比較で膨大な数となる。**
- **参加者が大勢となること、事前学習等で防災啓発の効果を向上させることができる。**
- **しかも、従来の会場設営等の費用を大幅に削減することができる。**
- **自治体の負担も事前学習、参加者募集が中心となり、直接負担を軽減することができる。**